

授業科目	理学療法学研究	4 学年・後期・4 単位 (120 時間)	
		理学	必修

科目担当責任者	山田崇史 (保健医療学研究棟 E407 号) e-mail : takashi.yamada1976@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	理学療法学科全教員		
概要	理学療法の専門領域および理学療法基礎セミナー1・2 で学んだ知識を基盤に各指導教員の下で研究・専門的探求テーマを設定する。研究の一連のプロセス(すなわちテーマに関する情報収集、仮説立案、方法の構築、データ収集と分析、結果および考察)や、システムティックに実施される高度な専門的知識の学習や整理(レビュー)を通して、科学的・論理的思考と研究リテラシーの醸成をはかる。理学療法研究はチュートリアルに近い少人数によるセミナー形式で行われ、学生自身の主体的な参加と研究態度が望まれる。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究テーマを設定し、それに基づき実験・調査を実施し、適切な手続きによって結果を要約・分析して、それを通して1つの結論を導くことができる。 2. 専門的探求テーマを設定し、それに基づき計画的に知的探究活動(専門的情報収集も含む)を行い、エビデンスに基づくレビューとそれに対する結論を導くことができる。 3. 課題の帰結に基づき、適切なプレゼンテーションの資料を作成し、しかるべきところで発表できる。 4. 課題の帰結に基づき、論文(レビューも含む)形式にまとめることができる。 		
関連科目	理学療法研究法、理学療法基礎セミナー1・2		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	発表	50%	
	論文	50%	
教科書	指定なし		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	詳細は担当教員の指示による		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	授業の進め方のガイダンス、論文のまとめ方	担当教員の指示による	講義・演習・実験など	全教員
2	研究テーマの焦点化と研究仮説形式に向けたレビュー	〃	〃	〃
3	研究テーマの焦点化と研究仮説形式に向けたレビュー	〃	〃	〃
4	研究テーマの焦点化と研究仮説形式に向けたレビュー	〃	〃	〃
5	研究テーマの焦点化と研究仮説形式に向けたレビュー	〃	〃	〃
6	研究テーマの焦点化と研究仮説形式に向けたレビュー	〃	〃	〃
7	研究テーマの焦点化と研究仮説形式に向けたレビュー	〃	〃	〃

8	研究テーマの焦点化と研究仮説形式に向けたレビュー	〃	〃	〃
9	研究テーマの焦点化と研究仮説形式に向けたレビュー	〃	〃	〃
10	研究テーマの焦点化と研究仮説形式に向けたレビュー	〃	〃	〃
11	仮説立案と研究デザインの構築	〃	〃	〃
12	仮説立案と研究デザインの構築	〃	〃	〃
13	仮説立案と研究デザインの構築	〃	〃	〃
14	仮説立案と研究デザインの構築	〃	〃	〃
15	仮説立案と研究デザインの構築	〃	〃	〃
16	仮説立案と研究デザインの構築	〃	〃	〃
17	仮説立案と研究デザインの構築	〃	〃	〃
18	仮説立案と研究デザインの構築	〃	〃	〃
19	仮説立案と研究デザインの構築	〃	〃	〃
20	仮説立案と研究デザインの構築	〃	〃	〃
21	研究方法の具現化(実験または調査)とデータ収集	〃	〃	〃
22	研究方法の具現化(実験または調査)とデータ収集	〃	〃	〃
23	研究方法の具現化(実験または調査)とデータ収集	〃	〃	〃
24	研究方法の具現化(実験または調査)とデータ収集	〃	〃	〃
25	研究方法の具現化(実験または調査)とデータ収集	〃	〃	〃
26	研究方法の具現化(実験または調査)とデータ収集	〃	〃	〃
27	研究方法の具現化(実験または調査)とデータ収集	〃	〃	〃
28	研究方法の具現化(実験または調査)とデータ収集	〃	〃	〃
29	研究方法の具現化(実験または調査)とデータ収集	〃	〃	〃
30	研究方法の具現化(実験または調査)とデータ収集	〃	〃	〃

31	研究方法の具現化(実験または調査)とデータ収集	〃	〃	〃
32	研究方法の具現化(実験または調査)とデータ収集	〃	〃	〃
33	研究方法の具現化(実験または調査)とデータ収集	〃	〃	〃
34	研究方法の具現化(実験または調査)とデータ収集	〃	〃	〃
35	研究方法の具現化(実験または調査)とデータ収集	〃	〃	〃
36	研究方法の具現化(実験または調査)とデータ収集	〃	〃	〃
37	研究方法の具現化(実験または調査)とデータ収集	〃	〃	〃
38	研究方法の具現化(実験または調査)とデータ収集	〃	〃	〃
39	研究方法の具現化(実験または調査)とデータ収集	〃	〃	〃
40	データ分析と要約およびプレゼンテーション技法	〃	〃	〃
41	データ分析と要約およびプレゼンテーション技法	〃	〃	〃
42	データ分析と要約およびプレゼンテーション技法	〃	〃	〃
43	データ分析と要約およびプレゼンテーション技法	〃	〃	〃
44	データ分析と要約およびプレゼンテーション技法	〃	〃	〃
45	データ分析と要約およびプレゼンテーション技法	〃	〃	〃
46	研究論文作成と研究成果の公表	〃	〃	〃
47	研究論文作成と研究成果の公表	〃	〃	〃
48	研究論文作成と研究成果の公表	〃	〃	〃
49	研究論文作成と研究成果の公表	〃	〃	〃
50	研究論文作成と研究成果の公表	〃	〃	〃
51	研究論文作成と研究成果の公表	〃	〃	〃
52	研究論文作成と研究成果の公表	〃	〃	〃
53	研究論文作成と研究成果の公表	〃	〃	〃

54	研究論文作成と研究成果の公表	〃	〃	〃
55	研究論文作成と研究成果の公表	〃	〃	〃
56	研究論文作成と研究成果の公表	〃	〃	〃
57	研究論文作成と研究成果の公表	〃	〃	〃
58	研究論文作成と研究成果の公表	〃	〃	〃
59	研究論文作成と研究成果の公表	〃	〃	〃
60	研究論文作成と研究成果の公表	〃	〃	〃